

シンポジウム

「地域リハビリテーションと地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション専門職の役割」

The 28th Tohoku Occupational Therapy Congress in Akita

全国初の地域療法士会 設立経緯とこれから ～リハビリテーションが地域医療の一部門になるという新しい考え方～

菅原 章

医療法人あかね会 あかね会訪問リハビリテーション事業所 所長



【岩手県釜石圏域の復興状況】

当地域は、岩手県沿岸南部に位置する釜石市と大槌町を併せた二次医療圏です。東日本大震災前月は圏域人口5.5万人、高齢化率33%でしたが、H29年12月末はそれぞれ4.7万人、37.2%で、津波被害と内陸部への転出による急激な人口減少と高齢化進行が深刻な問題となっています。

【釜石リハビリテーション療法士会（釜石リハ士会）が必要な理由】

会設立以前、行政の会議には釜石医師会・歯科医師会・薬剤師会・ケアマネ協議会が「専門職」として出席していましたが、リハ職は招聘されていませんでした。これでは地域の一員とは言い難い。H25年7月の設立後は多職種とともに出席し、まちづくりへの貢献の第一歩を踏み出しました。

【釜石リハ士会の多職種連携事業】

地域でリハ3職種がまとまる目的は、介護予防事業を受託しやすくするためか、それだけではなく地域医療の一部門になることを目指すかという二つがあるかと思いますが、釜石リハ士会は後者を選びました。以来、行政・医療・介護それぞれとの間で構築してきた濃密な連携についてご紹介します。

【地域の中での作業療法士の役割（私見）】

地域ではリハ職も行政や多職種と歩調を合わせて住みやすいまちづくりへ取り組むお手伝いをするのが求められています。その際にはリハ3職種においてリーダーや調整役等が必要となりますが、OTはリーダーよりも調整役に向いているのではないかと感じています。

略歴●菅原 章（すがわら あきら）

平成13年 医療法人あかね会 老健、訪問看護ステーションに所属
20年 あかね会訪問リハビリテーション事業所 所長（現職）
23年4～6月 釜石市災害対策本部保健医療班リハビリ部門責任者

- <資格> 3学会合同呼吸療法認定士
- <役職> 一般社団法人岩手県作業療法士会 沿岸支部長
釜石リハビリテーション療法士会 事務局長
いわて呼吸作業療法研究会 事務局長
- <所属学会> 日本在宅医学会
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
日本心臓リハビリテーション学会
- <行政関連> 釜石市地域ケア推進会議委員
釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会委員
大槌町地域ケア会議在宅医療部門連絡会委員
岩手県釜石保健所難病対策地域協議会委員